≥10月は乳がん月間、11月は子宮頸がん月間です。=

<u>"集い"とは? ~</u>「知る場」、「考える場」、「語らう場」、そして「実践へ」

福島県では、平成29年を目標年次として、がん検診受診率50%(乳がんと子宮頸がんにあっては60%)以上を達成することを目標としております。 県民一人ひとりが、がん検診について、「知り」・「考え」・「語らう」

県民一人ひとりが、がん検診について、「知り」・「考え」・「語らう」 ことを通じて、「実践(=がん検診受診)」につなげていくことが重要であ ると考え、"集う場"を設定しました。



講演者紹介

総合磐城共立病院

本多つよし医師

1959年福島県いわき市生まれ。 1987年福島県立医科大学卒業。

現在は、福島県立医科大学地域産婦人 科支援講座教授の傍ら、総合磐城共立 病院に勤務。「定期的な子宮頸がん検 診で、守ろう子宮を!」という信念を 県内外の講演などを通じて強く訴えて いる。



展示スースの出展社

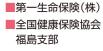
A 子宮頸がん検診ゾーン

- ■(公財)福島県保健 衛生協会
- ■日本ベクトン・ ディッキンソン(株)



■東京海上日動 火災保険(株)

- ■東京海上日動
- あんしん生命保険(株) ■アフラック
- ■住友生命保険(相)





日本生命保険(相)

B 乳がん検診ゾーン C 健康チェックゾーン

(順不同)

認定NPO法人オレンジティ理事長

河村 裕美氏

認定NPO法人オレンジティ理事長。 社会福祉士・PRプランナー。自身も 子宮頸がんにかかった経験から、患者 サポートの重要性を認識し、2002年 に「オレンジティ」を結成。女性特有 のがん予防啓発に精力的に取り組んで いる。著書に自身の経験を綴った『グ ローバルマザー』がある。



同日間催しいわき大交流フェスタ

本催しは、「いわき大交流フェスタ」と共同で開催します。 「いわき大交流フェスタ」は、いわきに住む様々な人たちが交 流を深めるイベントです。

交流サロンのワークショップや作品展示、フラダンスや伝統芸能などのステージイベント、ご当地グルメの販売も行います。

盛りだくさんのプログラムでお待ちしています!

世グ **ま!**

学生からのメッセージ

いわき明星大学をはじめとしたいわき市内の学生有志が、子宮頸がんについて語り合った結果を発表します。これを契機として、いわき市発の子宮頸がん予防の活動体が始動します。



学生たちをコーディネートする いわき明星大学

鎌田真理子教授



会場案内



シャトルバスの運行について

開催当日は、いわき駅及びいわき合同庁舎から会場までの無料 送迎バスを運行します。また、市内各所から、午前・午後各2便の循環バス(事前予約制)を運行する予定です。

詳しくは、いわき地方振興局 復興支援・地域連携室 (電話 0246-24-6253)まで、お問合せください。

● 主 催 福島県

後援 いわき市、福島県市長会、福島県町村会、(一社)福島県医師会、(一社)福島県病院協会、(公財)福島県保健衛生協会、福島県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会福島支部、福島民報社、福島民友新聞社

 協 賛 アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)、損害保険ジャパン日本興亜(株)、 (株)大東銀行、(株)東邦銀行、(株)福島銀行、住友生命保険(相)、第一生命保険(株)、 大同生命保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、東京海上日動あんしん生命保険(株)、 日本生命保険(相)、富国生命保険(相)、明治安田生命保険(相)

● 協 力 (一財)福島県婦人団体連合会、福島県健康を守る婦人連盟、(公大)福島県立医科大学附属病院、 (独)労働者健康福祉機構福島労災病院、いわき市立総合磐城共立病院、福島県医療ソーシャル ワーカー協会、がんを考える「ひいらぎの会」 (順不同)

